

患者さんへ

地域統一版トレーシングレポート導入の有用性評価

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表しません。

1. 研究の対象

2019年10月より2020年9月までに、地域統一版「服薬状況提供書」（以下トレーシングレポート）を導入した札幌東徳洲会病院、勤医協中央病院、天使病院、札幌禎心会病院が保険薬局から受領したトレーシングレポート

2. 研究目的・方法

院外処方箋を発行する札幌市東区の複数の病院の医師・薬剤師に対し、地域統一版トレーシングレポートに関するアンケート調査や保険薬局からのトレーシングレポート受領状況について調査・検討を行います。これにより地域全体としてのトレーシングレポート活用状況、地域統一版トレーシングレポートの有用性や課題を把握することができ、より緊密な薬薬連携に繋げることで札幌市東区の医療の向上が期待できる可能性があります。

[研究実施期間]

実施許可日 ~ 2022年2月28日

3. 情報の利用拒否

情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんのご家族等で患者さんの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、「7. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。なお、解析の都合上、お申出期間は、2021年3月31日までといたします。

4. 研究に用いる情報の種類

診療科、抗がん薬分類（レジメン、抗がん薬の種類等）、トレーシングレポートの分類（アドヒアランス、副作用、残薬調整、生活環境等）、処方（指示）変更後の症状・臨床検査値等の改善の有無と程度、トレーシングレポートが有用であった症例等

5. 外部への情報の提供

各施設ごとに、施設で収集したトレーシングレポートを用いて集計を行います。各施設の集計結果を、電子媒体で研究事務局（札幌東徳洲会病院薬剤部）に提出します。研究事務局では、各施設から提供された集計結果を用いて解析を行います。

6. 研究組織（共同研究機関名・研究責任者名）

<研究代表者>

札幌東徳洲会病院 薬剤部・副主任 徳留 章

<共同研究施設・施設責任者>

勤医協中央病院 薬剤部・主任 菊池 健

天使病院 薬剤部・主任 藤村 拓也

札幌禎心会病院 薬剤部・係長 重成 大介

<研究事務局（研究データ送付先）>

札幌東徳洲会病院 薬剤部・副主任 徳留 章

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら以下の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

札幌東徳洲会病院 薬剤部 徳留 章

〒065-0033 札幌市東区北33条東14丁目3番1号 電話 011-722-1110（代）

本院研究責任者：札幌東徳洲会病院 薬剤部 副主任 徳留 章

（2020年10月30日作成（第1版））